

平成 22 年 9 月 1 日

## 平成 22～23 年度 学校経営方針

品川区立後地小学校  
校長 水口春幸

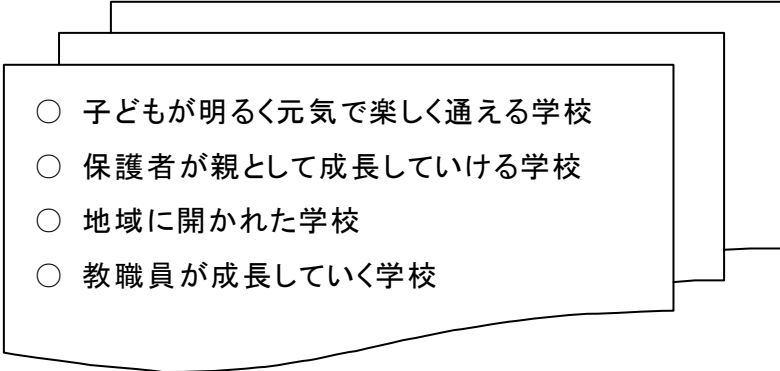
### 1 はじめに

品川区立小中学校の一つとして、地域の中心に位置する品川区立後地小学校。本校は、地域との密接な関係を築きながら、学力向上と豊かな人間性・社会性の育成に取り組み、教育活動の改善を進めてきた活気あふれる小学校である。平成 20 年度、開校 80 周年を迎え、様々な記念行事への取り組みを通じて、地域、保護者との関係を深めることができたが、これからも地域に根ざした学校として、地域、家庭との連携強化に努めていく。

本校の児童や保護者だけでなく、多くの卒業生の心の故郷というべき本校の伝統を土台にし、21 世紀を生きる後地小学校に通う子ども一人一人に、確かな学力と豊かな人間性・社会性の育成を図る教育活動を行っていく。さらに本校の教育活動は、品川区が進めている小中一貫教育の特色を生かし、1 年生から 9 年生までの 9 年間に於いて子ども（児童・生徒）の自立を目指す教育を行っていく。

### 2. 教職員のチームワークを活かして

教職員全員が一つのチームとして、各々の職務や役割の分担をとおして、後地小学校の子ども一人一人の成長を見守っていく。このことを日々実践していくことで、児童・保護者および地域からの信頼を高めることができ、新しい教育活動を行っていくことができる。子どもの個性や能力を深く耕し、種をまき育てていくことを目指す。

- 
- 子どもが明るく元気で楽しく通える学校
  - 保護者が親として成長していける学校
  - 地域に開かれた学校
  - 教職員が成長していく学校

### 3. 今年度のおもな課題 取り組み目標

平成 23 年度は、新しい学習指導要領が完全に実施される。したがって、平成 22 年度から、円滑な実施に向けての準備を全力で取り組んでいく。

本校は、これまで長年、すべての教科の基礎・基本として国語力の育成を重視し、独自の漢字検定や音読、暗唱、対話、スピーチ、討論など言語活動の充実を図るために様々な工夫を取り入れてきた。また、平成 21 年度から英語教育についての研究に取り組んでいる。さらに、朝の読書タイムを設置し、図書館に配置されている図書館スタッフを図書時間を確保し、読み聞かせをはじめ、読書の習慣が確立するようにしている。23 年度は今以上に読書、図書館の活用に力を注ぎいでいく。

#### 《小中一貫教育目標》

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、  
広く国際社会で活躍できる児童・生徒の育成を期する。

### 4. 小中一貫教育（施設分離型）の実践

平成 22 年度教育計画から、本校は、荏原第一中学校、第四日野小学校、小山台小学校と、同じ施設分離型の小中一貫教育の連携グループ校として、4 校共通の小中一貫教育目標に基づき、教育課程を編成し、実施しているところである。義務教育の 9 年間を考えた時に生じている小中間の接続の問題を克服するために、品川区で取り組んでいる小中一貫教育の成果を確実なものにしていくことが、これまで以上に重要である。小中の教員が力を合わせ、学力向上、生活指導、児童会・生徒会活動、学校行事、健康教育、英語科などについて分科会を設置しながら合同研究に取り組んでいる。学力の向上、規範意識の確立、自らの生き方を主体的に考えさせる進路指導、コミュニケーション能力の育成等に関して具体化を図るとともに、小中の教員が 9 年間を見通しながら成果と課題を検証し、それぞれの指導改善につなげていくことが必要である。

### 5. 幼稚園・保育園との連携教育を充実

近隣の中原保育園、石井保育園との交流活動（授業体験、昔遊び交流、給食交流等）を通して、児童の社会性の育成と園児の小学校生活への円滑な接続を図る。また、教職員間による授業参観、保育参観、教職員連絡会など交流の機会を設定し、相互理解を深める。